

岩東校歌

我がたましいの故郷

風巻景次郎 作詞
筒井秀武 作曲

一、この学園は

我がたましいの

故郷なり

窓辺に光る丘は近く

あ、学舎は空に映れり

われ等みな

こゝに集いて

人の世の真理をきわめ

さらにまた

われと学ばん

健やかに明るく

二、この学園は

我がたましいの

故郷なり

地平になびく雲は遠く

あ、黄昏は心奮けく

われ等みな

星を仰ぎて

永遠の正義をおもい

かえりみて

われと正さん

厳そかに静けく

岩中校歌

土井 晩翠 作詞
藤井 孝吉 作曲

一、大地の腕に包まれて

暗にひそめど時くれば

炎々燃えて百千の

文化のわざのものととなる

その炭田のゆたけさや

あ、岩見沢ささくあれ

わが中学の名にし負う

二、あ、寒冷と寂寥の

領せし処世は進み

日に栄えゆく岩見沢

その運命をいやましに

はぐくみ育つ無形の資

教えの光燦爛と

我が青春の身を照す

三、努めよ健児一団の

熱き力は火に似たり

時どりなば日東の

国の未来を双の肩

担いて高く地を踏まん

思いを込めて学窓の

夜半に仰ぐ北斗星